

滋賀工場

1. 事業概要

住所	〒520-3211 滋賀県湖南市高松町2番1
従業員数	60 (H28(2016).4.1現在)
敷地面積	本社工場:128,305m ² 飛地:51,577m ²
事業内容	1. 小型浄化槽、浴槽の開発・製造 2. 中・大型浄化槽の開発



主要製品



【小型浄化槽：KZ型】

【FRP浴槽】



工場変遷(沿革)

(設立年月日)

昭和45年	(1970)	工場完成 操業開始
昭和45年	(1970)	SMC法によるFRP浴槽の生産を開始
昭和46年	(1971)	SMC法によるプレス浄化槽の生産を開始
昭和48年	(1973)	カラーベスト工場を新設し生産を開始
昭和62年	(1987)	カラーベスト工場、新ラインを増設
平成 8年	(1996)	SMC法によるプレス小型合併処理浄化槽の生産開始
平成12年	(2000)	「ISO14001」の認証を取得
平成14年	(2002)	浄化槽製造における「ISO9001」の認証を取得
平成15年	(2003)	カラーベスト部門が松下電工と合併し、分社独立 (新会社名 クボタ松下電工外装株式会社 現:ケイミュー)

2.環境方針

Kubota

KMEW

環境方針

滋賀工場は、下流に近畿の水瓶・琵琶湖を控えた湖南工業団地に立地し、快適な住生活環境づくりを目指して、屋根材及び浄化槽・浴槽等の住宅関連製品を設計・生産している。

当工場は、企業の社会的責任として環境調和型創造企業を目指し、行動指針を以下の通り定め、地域・湖国及び地球の環境保全の向上に貢献する。

1. 製品の研究・開発や製造過程、並びに物流・品質クレーム対応等、“活動”、“製品” “サービス”を対象として次の課題に取り組む。
 - ①省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の減量化並びに資源再利用の推進
 - ③水質・大気の排出管理の維持強化
 - ④環境影響の最小化を目指した製品開発 等
2. 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
3. 環境関連法、条例、その他の要求事項を遵守する。
4. ISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステム構築により、環境の目的・目標を設定し、実行すると共に、定期的にレビューを行う。
5. 本方針は、文書等で「工場で働く人」全員に周知し、意識の高揚と確実な実行を図る。

平成28年 4月 1日

株式会社クボタ 滋賀工場長

内川 隆史

ケイミュー株式会社 滋賀工場長

橋本 光比古

ISO認証取得状況

平成12年 5月 「ISO14001」認証取得

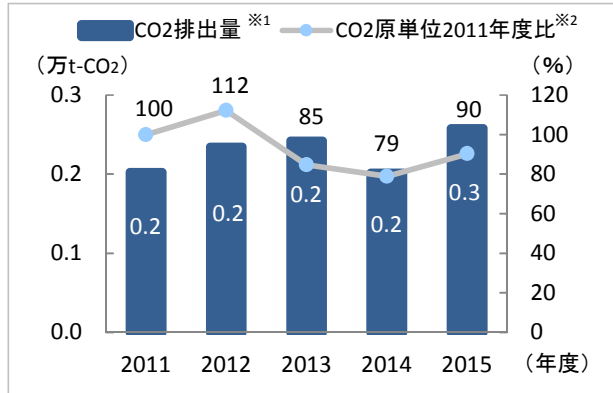
平成14年 5月 浄化槽・浴槽製造における「ISO9001」認証取得

滋賀工場

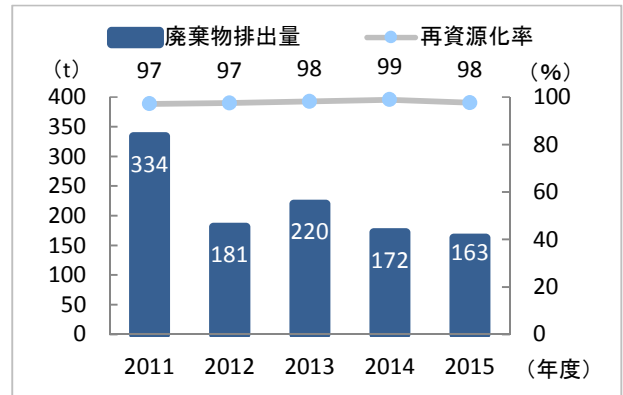
3.環境パフォーマンス

(1) 主要な環境指標の推移

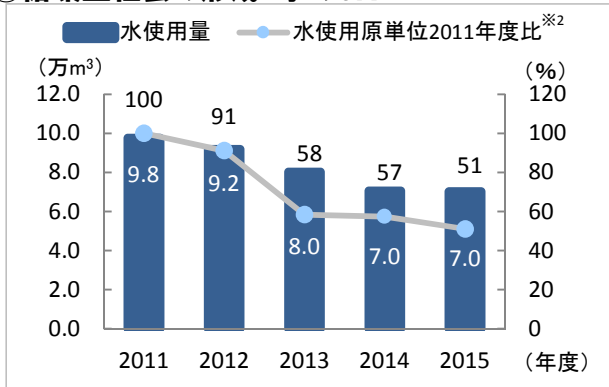
① 地球温暖化の防止



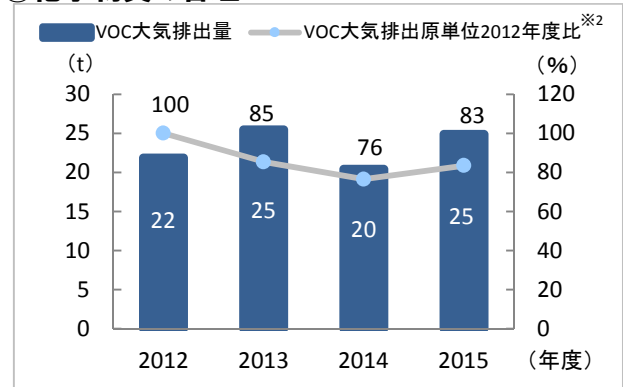
② 循環型社会の形成-廃棄物の3R



③ 循環型社会の形成-水の3R



④ 化学物質の管理



※1 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※2 2011年度(または2012年度)における内作生産金額あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数

※3 報告対象期間は、各年4月1日から翌年3月31日です。

(2) PRTR法対象物質集計結果(2015年度)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52
80	キシレン(総量)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78
240	スチレン	24,859	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
352	ジアリル=フタラート	109	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
354	フタル酸ジ-n-ブチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 届出対象(拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上)の化学物質について集計

滋賀工場

4. サイトデータ

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	1282
水使用量	万m ³	7.0

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2580
----------------------------	-------------------	------

	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
排出ガス	SOx	総量規制・K値規制 ともにm ³ N/h	※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
	NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm	濃度規制	180	30
	ばいじん	g/m ³ N	-	-	-

排水量	公共用水域 万m ³ /年	2.1	
	下水道 万m ³ /年	0.5	
汚濁負荷量	COD	kg/年	-
	窒素	kg/年	-
	りん	kg/年	-

	放流先	項目	単位	排水口名	
				規制値	測定値
排水	公共用水域	pH	最小値, 最大値	6.0~8.5	7.5, 7.8
		BOD	mg/ℓ	30	1
		COD	mg/ℓ	30	3
		窒素	mg/ℓ	12	0.5
		りん	mg/ℓ	1.2	0.1
		六価クロム	mg/ℓ	0.05	ND
		鉛	mg/ℓ	0.1	ND
		COD総量規制値	kg/日	-	-
		窒素総量規制値	kg/日	-	-
		りん総量規制値	kg/日	-	-
	下水道	pH	最小値, 最大値	-	-
		BOD	mg/ℓ	-	-
		COD	mg/ℓ	-	-
		SS	mg/ℓ	-	-

廃棄物排出量	t	163
再資源化率	%	97.6%

VOC排出量	t	25
--------	---	----

滋賀工場

5.環境トピックス

- ① エネルギー使用量(排出CO2)は、主力である小型浄化槽(KZ型)について、蒸気使用ロス(燃料LNGガス)低減策を進めた。海外市場拡大につき、2015/10～プレス生産体制を夜間・土日連続の4組3交代に変更(増産対応)した。
- ② 廃棄物量はその大部分を占めるプレス不良率低減策により、浄化槽本体槽不良率0.02%(目標0.40%)を達成。
- ③ 中型コンパクト浄化槽(HCZ型)を開発→市場投入。製品自体の汚水処理性能が環境改善に直結するだけでなく、うち12～21人槽はハンドレ品→プレス品で生産性も大幅向上。
- ④ 大型コンパクト浄化槽(KTZ型)を開発→市場投入。中型HCZ型と同様に環境改善に寄与。

6.環境コミュニケーション

地域美化活動

クボタeデー 2015.10.31 参加者32名
茶釜川周辺のゴミ拾いをを行った。

